多治見市の
肥田さん

日展入選作贈る

とうしん学びの丘に設置

入選作品の「煌めく」を除幕した肥田暎子さん(左から2人目)と市原好二理事長(右)、佐藤梓さん=多治見市虎渓山町、とうしん学びの丘エール

昨年の「改組新第3回日展」の洋画部門で入選した多治見市旭ケ丘の肥田暎子さん(74)が、入選作の「煌(きら)めく」を東濃信用金庫に寄贈、設置場所のとうしん学びの丘エール(同市虎渓山町)で12日、除幕式が行われた。

肥田さんは高校卒業後6年間、同金庫に勤務。絵画の心得はなかったが、40歳を過ぎたころ友人に誘われて油彩画を習い始めた。

「煌めく」は100号の油彩画。同金庫のイメージソング「笑顔の花」を手掛けた同市のシンガーソングライター佐藤梓さん(30)と親交があり、モデルを依頼した。

昨年秋の同金庫OB会で作品の寄贈を申し出た。作品はエレベーターホールに飾られ、肥田さんと同金庫の市原好二理事長、佐藤さんが除幕した。肥田さんは「譜面を手に曲を考えているイメージをヨーロッパ風に描いた。明るくて音楽に対してひたむきな佐藤さんの内面を表現した」と制作の意図を説明した。(有我友香理)

無断複製・転載を禁じます